

総評

数学がたいへん難しく、社会も難しめで、4教科の合計点も低めになりました。英語も難しかったようです。

数学や社会や理科では、小学校の学習内容を忘れていた人もいます。中学校の学習は、小学校の学習内容をよりくわしく調べたり、深めたりする学習が中心で、これまで学習してきた内容はとても大切です。小学の教科書はしばらく手もとに置いておき、疑問点はすぐに調べるようにしましょう。

道コンのようなテストは、現在のみなさんの実力を測る道具であると同時に、自分の弱点に気づき、こくふくするよい機会でもあります。結果をぼんやりとながめるだけでは、せっかく受けたテストがむだになってしまいます。まちがえた問題を見直し、解き直して初めて、実力アップにつながり、テストを受けた価値があります。

国語

やや易しい出題でした。

問二(1)の「備」はつくりの「用」の部分で、「冊」と書かないように注意しましょう。問五(3)では、【先生の話】をよく読み、先生のあげた条件を整理する必要があります。「話題自体が三つまで」のではなく、「名前と出身小学校以外の話題が三つまで」と言っていることに注意しましょう。問三は、読みやすく、全体によくできています。問四は、問四が難しかったようです。得点できなかった人は、最後の段落をもう一度よく読んでみましょう。

書き抜きや記述の問題では、誤字脱字、設問の条件の見落としがないか、答案を書いた後によく見直ししましょう。惜しいミス無くすことが得点アップにつながります。

数学

①～④の得点率が予想を下回り、平均点は低くなりました。

①は、必ず身につけたい基本的な問題です。計算の順序や小数と分数の混じった計算など、忘れていたことがあれば、この機会に必ず復習しましょう。

②～④は、割合や比、比例する量など、小学校の学習内容のうち、中学校1年生の学習に直接つながる内容を中心に出题しました。易しい内容ではありませんが、中学校1年生の学習をスムーズに進めるため、解説を読んでもう一度ちょうせんしてみましょう。

⑤と⑥は応用問題を中心に出题しました。重要なのは問題の見方や考え方です。解説の解き方や考え方が自分の考えと違っていた場合は、解説をよく読んで、考え方のバリエーションを増やしていきましょう。

社会

やや難しめの出題でした。5年生、6年生の内容が中心でしたが、忘れてしまっていることも多かったかもしれません。間違えてしまったところは復習して、中学での良いスタートを切ってください。

地理分野では、①問4(1)のグラフの読み取り問題が難しかったようです。グラフの正誤問題は、高校入試でも出題されます。文章をよく読んで、グラフと関連づけて説明できるようにしましょう。

歴史分野では、④問2の条約名を答える問題が難しかったようです。「日米和親条約」、「日米通商修好条約」と答える誤りが非常に目立ちました。歴史では重要な語句を覚えることが基本です。日ごろの学習から正確に暗記し、その内容まで説明できるようになると、中学生のテストでは点数につながりますよ。

理科

標準的な出題でした。

①は小4の内容も出題されましたので、忘れていたのか、得点率はあまりのびませんでした。一方、②や③は、小6内容からの出題でしたので、全体によくできていたようです。④問1は、平均の計算はできていたものの、10往復の時間を答えた答案や、四捨五入していない答案が非常に多くみられました。実験の文や、問題文などをしっかりと読み、問われたことに正しく答えるように意識しましょう。

小学校での学習内容は、今後学習することのきそとなっているものが多くありますので、今回間違えたところや、自信のなかったところは、もう一度教科書などをよく読んでしっかりと復習して、中学内容を学習する前に準備をしておきましょう。

英語

難しい出題でした。内容は小学校の復習ということでしたが、小学校での英語の学習状況に差があり、ほとんど英語にふれたことがない人もいたと思います。とくに英語の「書き」については、小学校ではあまり学習してこなかったと思いますが、これから中学校で英語を学んでいくにあたっては必要な部分です。「読み」や「書き」にも積極的に取り組んでいくようにしましょう。

①問1 No.2は、それほど難しい問いではありませんでしたが、得点率が低くなりました。ポイントが聞き取れていたか確認してみてください。

③問3は書かれてある単語を並べかえる問題でしたが、得点率が低くなりました。文のはじめを大文字にするなどのきまりは、学習したことがなかったかもしれません。これから慣れていきましょう。